

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ファミリーハウス美原
(ユニット名)	1F
所在地 (県・市町村名)	大阪府堺市美原区平尾
記入者名 (管理者)	福添 敏子
記入日	平成 19年 4月 27日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に愛される魅力ある施設づくりに努め地域の活動等に出来るだけ参加して、自分が将来入所したいと思える施設作りを目指しています。「一日のスタートは明るい笑顔の挨拶から」とご利用者と職員から自然に笑顔が、こぼれるように努めています。	○	お世話になるだけでなく、地域の方と共に生活していけるように地域に何か恩返しをしたいと私達にも出来る事があればと奉仕活動に取り組んでいます。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域の方に認知症を理解して頂けるようにボランティアの受け入れや外出の機会を多く作り、地域に密着した生活が出来る様に取り組んでいる。挨拶の徹底も力を入れて明るく元気が出るように努めています。		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	散策時にご近所の方と自然に会話が出来るようにしたり又、施設で開催される行事に参加して頂き多くの方に理解して頂ける様に取り組んでいます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設前に行事の案内や行事開催時には、ご参加の声掛けをしています。散策時や施設の外で外気浴や日光浴をしていますと犬の散歩をされているご近所の方から声をかけて下さいます。先日もご近所の方から娘さんのお雛様を頂きました。交流の場が広がっています。	○	去年より奉仕活動で散歩道の空き缶やゴミを拾っていますと、ご近所の方より「ご苦労様です」「良いお天気ですね」等、ご利用者に声をかけて下さる様になりました。ご利用者の誰かの役に立ちたいという思いもありますので、奉仕活動に力を入れて行きたいです。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や老人会には入れませんので参加は出来ませんが地域の行事や地域の活動には参加しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	天寿会として、老人会や集会で介護や介護保険のお話をさせて頂ける場を作ってはと言う意見があり、説明に行くようにしています。	○	老老介護や悲惨な事件を聞くたびに心が痛みます。相談して頂けたら何かお役に立てたかも知れないという思いがあります。地域の中で困った方がいつでも相談できるような体制作りを考えていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	一年に一回の外部評価を受ける事で外部の方がどのように感じられているか、大変参考になります。家族会にあまり参加されないご家族の意見もお聞きする事が出来、今後の改善点が具体的に分かるので、早急に改善している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事報告や事故報告・ヒヤリハット報告もさせて頂き良い点・悪い点を話し合っ改善できるように努めています。前回家庭菜園についてのご意見がありましたので施設の西側で野菜を育てる様、計画しています。	○	前回より事前に次回のテーマを決めて意見が出やすいようにしています。5月は家族会で提案がありました、ご家族のボランティア活動(行事のお手伝い等)をどのように対応したらいいかを検討課題の一つにしています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議では色々なご意見を伺っていますが、市の職員担当者の方とは時々、パンフレットの補充に伺いお話する程度で定期的に行き来するまでには至っていません。、質問事項等分からない事がある時は、何度も事業者指導室の担当の方に連絡し教えて頂いております。	○	逆に私達に出来る事を具体的に教えて頂きたいと思っています。運営推進会議でお聞きしてサービスの向上に取り組みたいです。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今の所、必要が無かったので活用していませんが、今後の為にも勉強していきたいと思ひます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束や人権については外部研修等に参加し施設内での防止に努めています。虐待は当施設ではありませんが、皆で注意を払い決してあってはいけない事と職員一人ひとりが自覚しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入院退所されるケースが一番多く、お元気になるまで退院時に今後どうすればいいかで、ご家族が一番心配されています。退所後も病院にお見舞いに伺うなど、お困りの際はご相談に乗り、必要時は他施設をご紹介するなど出来るだけの事はさせて頂きましてお話ししております。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に苦情箱の設置や必要時には第三者委員の方に相談ができるように「苦情申出窓口」の設置をしております。	○ 今の所施設内で解決されていますので、第三者委員の来訪はありませんが、今後は定期的な来訪をお願いしてみたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月行事予定表をお送りする際に近況を書かせて頂いたり、月末にはお預かり金の残高のお知らせと領収書を送付させて頂いております。 病院受診や必要に応じて、電話やFAXで連絡させて頂いております。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談窓口を明記しており、家族会や運営推進会議等で苦情やご意見を言って頂ける様に心がけています。 外部評価のアンケートもご意見をお聞きするチャンスと考えております。	○ ご利用者・ご家族様へのアンケートを検討中。 食事の味や質等、些細な事でも皆さんの意見を聞き、改善できる事があればと思います。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議を開催して運営やサービスの質の向上についても毎月話し合い、職員の意見が反映できる機会を作っている。理事長も参加されていますので、直接意見を聞く事が出来ます。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事等事前に計画できる事については勤務調整をしているが、日々の対応はフリー業務者が必要に応じ応援に入ることに対応している	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係をつくり慣れた職員によるお世話を心がけていますが其々の家庭の事情等により離職される場合があります。 ご利用者には、退職の話はこちらからは致しませんが聞かれた場合はお話しします。 退職しても、時々行事等に参加をお願いしたり、遊びに来てもらえる様な関係作りに努めています。 S	○ 施設内で管理者研修があり、職員が働きやすい職場にするには、離職を無くすには等の勉強会もありました。 又、職員一人ひとりと話をし、不満やストレスの改善や軽減につとめていく時間を今年度は作っていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は次に続く人材育成を大切思われています。昨年度より、管理者研修を施設内で開催して、勉強の機会を作ってもらっている。又今年中は堅職員の研修も予定されている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>北グループホームの管理者の会議に参加して他施設の情報を聞く機会がある。本年度より、お互いに運営推進会議のメンバーになる事により交流の場が広がった。グループホーム間の相互研修にも参加しているので良い所をどんどん取り入れて行っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>働きやすい環境の希望も聞いてもらえ、勝手口の工事してもらえ事になりました。会議で何でも話し合いができるので職員の希望や意見が反映されている。同法人による、合同忘年会も開催してもらえ、ストレスの発散もできました。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努力や実績を正しく評価され頑張る職員は認められるので頑張る意欲が持てる。</p>	
<p><b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご相談のお電話を頂きましたら、出来るだけご本人同伴で来所頂き施設見学をして皆さんの生活を見てもらった上で不安や希望を直接お聞きするようにしています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>認知症があるご利用者が施設での生活に馴染めるか心配されるご家族が多くいらっしゃいますので、入所前の待機中でも行事等に参加して頂けるように、お知らせしたりファミリー新聞の発行時には郵送する等、理解して頂ける機会を作っています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談がありましても、入所をお急ぎの場合は、同じ法人である老健施設をご紹介したり、他のグループホームをご紹介させて頂いております。担当ケアマネが決まっていない場合は居宅介護支援センターをご紹介しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	先ずは施設見学に来ていただき、一緒におやつを食べて頂いたり、しています。待機中にも行事に参加して頂けるようにお知らせしております。陶芸レクやお花見と一緒に参加されています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活している家族と思ってお世話しております。手伝ってもらったり助けてもらったりしています。人生の先輩として尊敬の気持ちを常に持っていたいと思います。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が協力的で行事等にも大勢参加してくださり、皆さん顔馴染みになられ誰のご家族様で無く、ご利用者皆さんのご家族になられています。ご家族様より、私達に何か出来る事は、言ってくださいと協力のお申し出がありました。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会に来ていただける様に声掛けさせて頂いたり、面会に来所頂けたら一緒に食事を食べて頂いたり、おやつを食べて頂いています。いつでも、ご家族に会えますと言う安心感を常に持つて頂ける様に努め、お互いに笑顔で会話が出来る関係作りをしています。	○	お誕生会に、ご家族から事前に御祝いのビデオメッセージをお願いして、皆さんの前でご紹介してはという計画があります。又、お誕生会のビデオをご家族にも見て頂いてはと思っています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全員という訳には行きませんが、ご家族了解の上で以前住まわれていた所にお連れしたりしています。又、以前入所されていた施設にもお連れしています。遊びに来て頂いた事もあります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	夕食後、職員も一緒に楽しいテレビ番組をワイワイと見ております。認知症が進みますと一人でどの様に時間を過ごしているか、分からない方もいらっしゃいますが職員が介入してきっかけを作ると利用者さん同士で楽しい会話が弾みます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ほとんどの方が入院退所ですので、病院にお見舞いにかがったりして、お元気になられた後の事につきましても、お力になれる体制を作っています。他施設とも連携を計っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望を言える方には話し合いの場に参加して頂いたりしています。笑顔で生活して頂けるように努めています。ご家族の面会時間も得に決めていませんし、外泊や外出も自由となっております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の聞き取り時に生活歴をお聞きしたり、面会時に近況報告させていただきますので、その際以前はこうでした等、お聞きする事が多いいです。入所後にご利用者より、直接お聞きする事も多々あります。以前のケアマネより情報提供して頂く事もあります。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	無理強いする事なく残存機能を活かして出来る事はして頂いています。小さな事でもご自分で判断して頂く機会を意図的に作っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人の意向やご家族の意見をお聞きして介護計画を作成していますが、「お任せします」や「本人が良いように」と言われる場合が多いです。場合により、ご本人に参加して頂き、プランについて意見をお聞きする事もありますが、ケアマネと担当職員を中心に検討して作成している事が多いです。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調不良等で計画が継続しがたい時は、早急にプランを見直しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プラン実行についての成果や気づきを観察して記録すると共に、評価も出して次回のプランにつなげている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当施設で対応できない場合は同法人に相談したり、場合によっては包括支援センターや在宅支援センターとも協力して対応しています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要時にはボランティアをお願いして外出を支援しています。警察署には、何かありましたら協力いただける様をお願いに行っています。今の所、大事には至っておりません。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要時には、同法人のケアマネや指導員と話し合い、他のサービスが利用できないか相談や検討をしています。以前に透析の方やインシュリンの方・生活保護の方の相談がありました。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今の所必要が無かったので、ほとんど出来ていない。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医に月1回定期往診に来てもらい又、必要時には受診や往診をお願いしています。お年寄りの対応を上手にしてください丁寧で診て下さいます。夜間往診も可能です。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>施設サイドが看取りケアを押し付けても、うまく行かないと思います 職員サイドから最後まで私達の手で看取りたいという姿勢が見られた時にふみきれると思っています。終末期は必ず訪れますのでご家族と話し合いの場を持つ事は必要と思います。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには、特に注意をしています。言葉づかいは、一人ひとりが注意するだけでなく、お互いに注意し合う様に心がけています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	色々な場面で選んで頂いたり、希望をお聞きしたりしています。初めは、何でも良いと言われていた方でも、少しずつ小さな事ですが自分の意見や希望が言えるようになられています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ希望にそえる様に努力はしていますが、時々業務が優先される事があります。起床時間や食事時間・入浴等、臨機応変に対応しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望をお聞きして、理容・美容はご家族の了解を得て、ご希望にそえる様努めています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事は皆さん大好きです。一番の楽しみかもしれません。盛り付けやお片付けも協力して頂いています。献立の希望をお聞きしたり、お誕生日にはご本人の食べたい物を可能な限り用意しております。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	特に決まりは無く、ご本人やご家族が希望されればお酒やたばこも自由です。但し体調や主治医と相談の上でご希望に沿えない場合もあります。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターンを把握してできるだけ、日中はオムツ類の使用を減らしている。夜間は安眠できるように一部の方はオムツを使用している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望者は毎日入浴していただき、楽しんでいただける様に音楽や入浴剤を使用しています。夜間入浴(夕食後)もあります。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後、横になられたり、就寝時間も21時～23時と幅を持たせています。個室ですので他の方にご迷惑が掛からなければ23時までテレビを見る事も可能です。しかし、ほとんどの方が21時頃には休まれています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	子供さんがお好きな方には「子供110番」の見回りをお願いしております。散策がお好きな方には空き缶やゴミを散策しながら、拾ってもらっています。仕事がしたい方には玄関周りのお掃除をお願いしております。	○	誰かの役に立ちたい、仕事がしたいという思いを形に今後もしていきたい。新たな体験もして頂きたいと考えています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望者には自己責任において現金を持たれています。他の方に付きまちは、施設預かりになっておりますが、お買物等のお支払い時に場面に応じて、お財布をお渡しして支払いをお願いしております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	屋外に出かける機会が多く取っています。毎日の散策の他にもお買物やドライブ・大衆演劇観賞・荘外食事会と盛りだくさんです。出かける事による事故等のリスクはありますが、ご家族様にもご理解頂いています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に1回のバス旅行にご家族様の参加を呼びかけ大勢で出かけております。中々遠出する機会が無く良い思い出になりますとご家族様にも好評です。ゲームセンターやカラオケBOXにも出かけております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設内には公衆電話が設置されています又、年賀状他 ご家族に手紙を書いて頂いたりしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	出来るだけ沢山の方に来所して頂ける様に努めています。他のご利用者にお茶を運んで頂いたり、帰られる際にも皆さんでお見送りしたり、家族のように接しています。 又来て頂ける様に配慮しています。		
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	切迫性・非代替性・一時性の身体拘束の記載を事務所内に掲示して、拘束をしない施設である事をご家族様にも説明し、リスクについても了解を得るようにしています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には10時過ぎから4時まではタッチキーで自由にドアが開閉できるようにしておりますが、新しい方が入所され不穏時に一時的に暗証キーで対応する事もあります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日に何度かは、さりげなく人数を確認しております。居室で過ごされている時も「寒くないですか」等さりげなく声掛けをして様子観察の為、訪室しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危ないから引き上げましたになりがちですが、何か代替できる対応が無いか話し合い決めています。包丁や洗剤や夜間は事務所や鍵のかかる所に引き上げています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会やケース会議・避難訓練を定期的にして事故防止に努めています。 リスクマネジメント委員会で話し合っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的にはしていないが、緊急時マニュアルを作成して対応しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年2回実施したり、最寄の警察署に当施設を理解して頂き、緊急時の協力をお願いしています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時にご家族には拘束をしない施設である事をご理解いただき、それに伴うリスクについても了承をお願いしています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	全ての情報はその日のリーダーに報告しリーダーは必要に応じ、管理者・主治医に報告し、指示を仰いでいる。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方される薬については明細を発行してもらい効能や副作用について確認しています。又、Dr応診時に症状や変化を「応診時連絡事項記入書」に記録して報告しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散策等の適度な運動や乳酸飲料をおやつに取り入れたり、朝食後の排便を習慣付け様にトイレ誘導をしています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きをして頂き、就寝時は義歯洗浄剤で消毒し清潔保持に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日1, 200～1, 500ccの水分摂取に努めています。便秘症やあまり水分を飲まれない方については、水分量をチェックしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成して、実行しています。おかげさまで、ノロウイルスやインフルエンザに感染することなく、皆さんお元気に生活できています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日布巾やまな板はハイター漂白をしています。食材もスーパーに自分達で買出しに行き新鮮な物を購入しています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇やプランタンに季節の花を植えたり野菜を植えて、ご利用者だけでなく道行く方にも楽しんで頂いています。明るく入りやすい玄関周りにしています。陶芸レクで作った作品も飾っています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節、季節でその月にちなんだご利用者の作品を飾ったり落ち着いた生活して頂ける空間にしています。浴室は明るく気持ちよく入浴していただけるよう音楽や入浴剤を使用したり、ゆず湯や菖蒲湯を楽しんで頂いたりしました。食堂には美味しいご飯の炊ける匂いがして、食欲が出るように工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー以外に少し離れた所にも椅子を設置しています。1F駐車場前にも椅子を設置してありますので花壇を見ながら、たばこを吸いながら思い思いに過ごして頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご本人の馴染みのある物を持ち込んで頂く様にお願いはしていますが、個人差があります。ご家族がお話されても、ご本人が要らないと拒否される場合もあります。出来るだけ家庭的な雰囲気作りに努めています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日2・3回は換気に努めています。温度計や湿度計を設置して小まめに調整しています。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・廊下・浴室の必要な所には手すりを設置しています。廊下や一番事故の多いお風呂場には足元に物を置かないようにするなど注意しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知症の為、何度も同じ事を聞かれたりされますので、口頭だけでなく紙に書いたりして納得して頂けるように努めています。排泄の失敗は他の方に気付かれ無い様に配慮しています。排泄のパターンを把握してトイレ誘導の声掛けをさりげなくしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇や畑にお花や野菜を植えています。植え替え時には、お手伝いをお願いしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点や・アピールしたい点】